

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和5年4月25日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名  
経理責任者名  
(又は議員名 道祖 満 )

令和4年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり  
令和4年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和4年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入  
政務活動費 480,000 円

【内訳 40,000円×12月】

2 支出 758,157 円

3 残額 0 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	0	会場費	0	
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	0	
		交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	11,495	資料購入費	11,495	月刊ガバナンス
広報費	746,662	広報紙等印刷製本費	205,700	議員活動報告
		送料	540,962	議員活動報告送料
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 道祖 満 )

( 資料購入費 No.1 )

(領収証等貼付箇所)

請 求 書

道祖 満

様 令和 4年 4月 27日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社きょうせい

代表取締役 社 長 成 吉



金額には消費税及び地方消費税が含まれております。(10%) (0440-0024625)

下記のとおりご請求いたします。

ご請求額	¥12,540.-	お得意様No (請求No)	70-3676825 (204218614)
------	-----------	------------------	---------------------------

お支払は令和 4年 5月 31日までにお願いします。

E

品 名	追録号数	数 量	単 価	金 額	備 考
刊「ガバナンス」 2022年5月号～2023年4月号	購読料	1	12540	12540	

(振込先) みずほ銀行東京営業部 (001)  
普通預金 4913720 カキヨウセイ  
(要打電項目) 204218614 トウツ ミツル

01220041415  
( 83)

振込金受領証

(金融機関・コンビニエンスストア等用)

払込人氏名  
道祖 満 様

お問い合わせ番号  
703676825

金額 12,540  
内消費税額 1,140

受取人  
株式会社きょうせい

振込先  
みずほ銀行東京営業部  
普通 4913720  
かきヨウセイ

受領印

収入印紙貼付欄  
(CVS等収納用)

22503  
受領日附印

(お客様控)

ゆうちょう銀行又は郵便局へお支払いの場合は左側の一枚だけをお出しください。



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 道祖 満 )

( 広報費 No.1 )

(領収証等貼付箇所)

お客様コードNo.4531

納 品 書

伝票No. 116

820-0001  
飯塚市鯉田2525-44

どうぞ 満様 御中

TEL 0948-25-3280

FAX 0948-24-0749

令和 4 年 7 月 16 日

**ダイワ印刷株式会社**  
DAIWA PRINTING co.,ltd

代表取締役 浅田 元司



〒820-0046 福岡県飯塚市大日寺1419番地1  
TEL (0948) 24-6633 FAX (0948) 24-6634  
取引銀行 福岡銀行 飯塚本町支店 普通預金 1730949  
飯塚信用金庫 枝国支店 普通預金 0080855  
口座名義 ダイワ印刷株式会社 代表取締役 浅田元司  
(アサダモトシ)

担当者:浅田智之

毎度ありがとうございます。下記の通り納品致しますので御査収下さい。

コード	商品名	数量	単位	単価	金額	備考
	議員活動報告書8P(2+2)B5 綴じ無 上53	7,000	枚		93,000	
課税対象額	93,000 (消費税合計)				9,300	
摘要				合計	102,300	

領 収 証

No 02825

どうぞ 満 殿

金額	7	1	0	2	3	0	0
----	---	---	---	---	---	---	---



但し 印刷代217

上記金額正に領収致しました

令和 4 年 7 月 16 日

内 訳	現金	✓
	小切手	
	手形	/
	相殺	



**ダイワ印刷株式会社**  
DAIWA PRINTING co.,ltd

〒820-0046 福岡県飯塚市大日寺1419番地1  
TEL (0948) 24-6633  
FAX (0948) 24-6634  
mail : info@daiwainsatsu.jp  
URL : http://www.daiwainsatsu.jp

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 道祖 満 )

( 広報費 No.2 )

(領収証等貼付箇所)

領収書

道祖 満 様

[別納引受]  
区内特別特(定)BC  
@62 4,235通 ¥262,570

小 計 ¥262,570

郵便物引受合計通数 4,235通  
課税計(10%) ¥262,570  
(内消費税等 ¥23,870)  
非課税計 ¥0

合計 ¥262,570  
お預り金額 ¥263,000  
おつり ¥430

印紙税申告納  
付につき趣町  
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
取扱日時:2022年 8月 1日 10:57  
発行No.220801A8605 端N00箱32  
連絡先:飯塚郵便局  
TEL:0570-074-030

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 道祖 満 )

( 広報費 No.3 )

(領収証等貼付箇所)

お客様コードNo. 4531

納 品 書

伝票No. 305

820-0001  
飯塚市鯉田2525-44

どうぞ 満様 御中

令和 4 年 12 月 28 日

**ダイワ印刷株式会社**  
DAIWA PRINTING co.,ltd  
代表取締役 浅田 元司

〒820-0046 福岡県飯塚市大日寺1419番地1  
TEL (0948) 24-6633 FAX (0948) 24-6634  
登録番号 T4-2900-0104-6324

TEL 0948-25-3280

FAX 0948-24-0749

担当者: 浅田智之

毎度ありがとうございます。下記の通り納品致しますので御査収下さい。

コード・商品名	数量	単位	単価	金額	備考
議員活動報告書8P(2+2)B5 綴じ無 上53	7,500	枚		94,000	
課税対象額	94,000	(消費税合計	9,400)		
摘要			合計	103,400	

取引銀行 福岡銀行 飯塚本町支店 普通預金 1730949  
飯塚信用金庫 枝国支店 普通預金 0080855  
口座名義 ダイワ印刷株式会社 代表取締役 浅田元司(アサダモシ)

領 収 証

No 03017

どうぞ 満 殿

金額	¥	103400
----	---	--------

但し EPB154'4LT

上記金額正に領収致しました

令和 4 年 12 月 28 日

内 訳	現金	7103400-
	小切手	
	手形	91
	相殺	

取扱者印  


**ダイワ印刷株式会社**  
DAIWA PRINTING co.,ltd

〒820-0046 福岡県飯塚市大日寺1419番地1  
TEL (0948) 24-6633  
FAX (0948) 24-6634  
mail : info@daiwainsatsu.jp  
URL : http://www.daiwainsatsu.jp





政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 道祖 満 )

( 広報費 No.4 )

(領収証等貼付箇所)

領収書

道祖 満 様

[別納引受]  
区内特別特特(定)BC  
@68 4,094通 ¥278,392  
-----  
小 計 ¥278,392

郵便物引受合計通数 4,094通  
課税計(10%) ¥278,392  
(内消費税等 ¥25,308)  
非課税計 ¥0

合計 ¥278,392  
お預り金額 ¥280,000  
おつり ¥1,608

印紙税申告納  
付につき麴町  
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
取扱日時:2023年1月11日 10:54  
発行No.230111A5671 端N00箱32  
連絡先:飯塚郵便局  
TEL:0570-074-030

2022年

夏

どうそ 満

## 議員活動報告



発行責任者 道祖 満

飯塚市鯉田2525-44

TEL 25-3280

つくります!  
newしいづがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

天の川紅葉を橋に渡せばや

たなばたつめの秋をしも待つ

(よみ人知らず)

皆様お元気ですか。

今年は、梅雨明けが早く驚きました。また、7月に入っの暑さには参りました。

コロナウイルス感染症は、皆様の日頃の感染予防対策の効果、ワクチン接種の効果で落ち着いて来たように見えます。しかし、報道によると夏休みに入り多くの人が移動すれば感染者の拡大が懸念されると言われています。

わたしは、7月に入りコロナウイルス感染防止のための4回目のワクチン接種の案内が届きましたので、皆様にこの議員活動報告が届くころまでには、接種をするつもりでいます。(3回目の接種後は身体が怠くて一日中寝ていましたが、感染の方が怖いので。)

飯塚市議会では、令和4年5月26日から5月27日に臨時市議会が開催されました。

この臨時市議会で、松延隆俊議員が一身上の都合で議長を辞職し、後任に秀村長利議員が議長に就任(任期は令和5年4月の次期改選まで)致しました。

6月定例会市議会が令和4年6月13日から6月27日まで開催されました。

今回の定例会市議会では、一般質問で「小中学校統廃合後の、利用未定の旧学校施設・旧学校敷地について」として、JR新飯塚駅東口側にある飯塚市歴史資料館、サン・アビリティーズいづか、飯塚市社会福祉協議会を移転し定住人口増加に取り組むことを要望致しました。また、「中学校の運動部の部活動の在り方について」として、運動部の部活動への外部指導者による指導の在り方について市の取り組みを質しました。

令和元年6月定例会市議会で「次回の飯塚市議会議員選挙から議員定数を28人から24人とする。」ことが、賛成21人、反対6人で決まっていたましたが、今回の定例会市議会に「議員の定数を24人から28人に戻す。」条例改正案が議員提出議案として提出されました。採決の結果、議長を除く27人中、賛成15人、反対12人で可決されました。

(わたしは、議会に対しての市民の意見を聞く機会を設ける決議案を提出しましたが、市民の意見は聞く必要が無いとのことで、賛成少数で否決されました。)

## 令和4年6月定例会市議会が開催されました。

令和4年6月定例会市議会が、令和4年6月13日から6月27日まで開催されました。

今回の定例会市議会では、次の議案が審議されました。

○新型コロナウイルス感染症対策として、生活困窮者自立支援金 8,155 万 8 千円、低所得子育て世帯生活支援特別給付金 (対象児童 1 人当たり 5 万円) 1 億 3,004 万 2 千円が計上された「令和4年度飯塚市一般会計補正予算 (第1号)」(令和4年5月30日専決)

○嘉穂劇場保存整備事業 (耐震診断調査委託料、嘉穂劇場入り口駐車場用地購入費) 1 億 884 万 4 千円、空家等対策事業 (空家の流通システム・管理システム構築委託料) 9,650 万円等が計上された「令和4年度飯塚市一般会計補正予算 (第2号)」

○新体育館の整備に伴い、施設に関する趣旨、設置及び使用料等について規定する「飯塚市総合体育館条例」

○相田・横田・幸袋・立岩・芳雄町・飯塚特別用途地区についてコンパクトなまちづくりの実現を図るため建築物の用途制限について規定する「飯塚市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例」

○飯塚市立病院に、診療体制強化のため常勤の医師と看護師を配置した救急科を新たに診療科目に設ける「飯塚市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」

○新体育館に移動式観覧席を設置するため 7,843 万円でグッドイナフ(株)を契約先として取得する「財産の取得 (移動式観覧席)」

○飯塚市消防団颯田方面隊第4分団に消防ポンプ自動車を配備するため 2,076 万 8 千円で(株)ナカムラ消防化学を契約先として取得する「財産の取得 (消防ポンプ自動車)」

○内野宿長崎屋 (管理棟) を不法に占有している以前建物を主体的に管理していた人物に対して、飯塚市有建物から退去及び土地の明渡しを求める訴えを提起する「訴えの提起 (建物退去土地明渡請求事件)」

○14 か所の路線を市道と認定する「市道路線の認定」

○幸袋交流センター整備事業、文化会館改修事業、体育館等建設事業の継続費を令和3年度飯塚市一般会計歳出予算に設定したので報告する「継続費繰越計算書の報告 (令和3年度飯塚市一般会計)」等の報告議案 10 件が審議されました。

また、追加議案として、各小学校運動場照明の LED 化工事を行う照明設備改修工事費用 3,100 万円、生活保護世帯を含む子育て世帯へ子育て応援券 (世帯当たり 3 万円) 費用 6 億 9 千万円が計上された「令和4年度飯塚市一般会計補正予算 (第3号)」と、口春 (頭首工) 災害復旧工事を丸島・オカベ特定建設工事共同企業体と 1 億 7,765 万円で契約する「契約の締結 (口春 (頭首工) 災害復旧工事)」が審議されました。

今回の本会議では、議員提出議案 7 件が審議されましたが、その内 2 件は、飯塚市議会議員の定数に関する議案で、議案内容、採決結果は次の通りです。

◎議員提出議案第8号 「議員定数をはじめとして市民にとって最適な議会のあり方の検討に関する決議」（わたしが提案者となり、定数を24人から28人へ戻す請願が、3月定例市議会で議長を除く27人中、賛成13人反対12人棄権2人で可決されましたので、改めて市民の皆様のご意見を聞く場を設け、市議会のあり方について市民の皆様と考えることを、下記案文で提案致しました。）

議員定数をはじめとして市民にとって最適な議会のあり方の  
検討に関する決議（案）

議会は、市民から選挙された代表機関であり、政策決定や、市長等の事務の執行にかかる監視及び評価を行う責任を担う一方で、議員定数や報酬など自己の身分について自ら決定する責任も負っています。

私たち飯塚市議会は、令和元年6月、次回の一般選挙から議員定数を4人減じ、24人とする条例改正案を賛成多数で可決しました。

その後、令和3年9月に市民から提出された「請願第4号 飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部改正を求める請願」は、女性をはじめ多様な市民から構成される議会となるよう、議会では有識者や市民の意見を聴くなどして、議論を深めた上で、議員定数を改正前の28人に戻すことを求める請願でしたが、議会運営委員会に付託して審査した後、令和4年3月に賛成多数で採択しました。同じ議員構成でありながら、令和元年6月とは異なる意思決定となったものです。

議員定数のあり方については、その後、市民団体の主催により、令和4年4月30日に穂波交流センターにおいて「議員と市民の意見交換会」が開催されましたが、その案内文には「いずれも市民不在の結論であることに変わりはありません。」との指摘があり、また、令和4年5月30日付西日本新聞朝刊の社説は、「議会は民意を基にした、自治体の意思決定機関である。その役割の重さを考えれば、定数は議員だけで決めるのではなく、住民を交えて最適解を探るべきだ。」「意見交換会で市民は『削減に賛成、反対双方の議員の意見が聞きたい』と要望した。市議会は議決する前にこうした声に応えるべきだ。」などと述べています。

請願はすなわち強制力を持つものではありませんが、市民の代表である我々議員が再び市民の意見を聴くことなく、令和元年6月の議決を覆す議決を行うようなことがあれば、私たち議員は、市民の批判を免れることはできず、また、政治への不信につながりかねません。

そこで、飯塚市議会は、議員定数をはじめとして、市民にとって最適な議会のあり方について、市民と意見交換を行う機会を設け、検討を行った上で結論を導き出すことをここに表明します。

以上、決議する。

飯塚市議会

採決の結果は、賛成少数で否決されました。

◎議員提出議案第9号 「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」（市議会議員の定数を24人から28人へ戻す請願が、3月定例会市議会で可決されましたので、条例の議員定数24人を28人に戻すことを定める提案で提案理由の案文は次の通りです。）

議員提出議案第9号 令和4年6月14日

飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を次のように定める。

提 出 者	飯塚市議会議員	金 子 加 代
	〃	兼 本 芳 雄
	〃	川 上 直 喜
	〃	深 町 善 文
	〃	江 口 徹
	〃	小 幡 俊 之
	〃	吉 松 信 之
	〃	福 永 隆 一
	〃	田 中 博 文
	〃	鯉 川 信 二
	〃	平 山 悟

#### 提案理由

請願第4号「飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部改正を求める請願」に基づき、飯塚市議会の議員の定数を28人と定めるため、本案を提出するものである。

なお、本条例案は、令和元年7月の条例改正が市民との対話がなされないまま行われたことを反省し提出するものであり、議会は、議会のあり方及び議員定数の考え方について、次の一般選挙後に市民の参加の下に検討を行い、その結果に基づいて必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

採決の結果、提出者11人に加え、永末雄大・松延隆俊・城丸秀高・吉田健一の4人の議員が賛成し、議長を除く27人中、賛成15人、反対12人で可決されました。（令和元年6月定例会市議会で議員定数を24人とすることに賛成した21人の議員の内、9人の議員が定数を28人に戻すことに賛成致しました。）

## 「学校統廃合後の、利用未定の旧学校施設、旧学校敷地について」一般質問を行いました。

JR 新飯塚駅東側には、飯塚市歴史資料館、サン・アビリティーズいづか、飯塚市社会福祉協議会等が、飯塚市の市有地に立地しています。

この市有地に立地している各施設等を、学校統廃合後にまだ利用が定まっていない旧学校敷地へ移設し、JR 新飯塚駅東側の再開発と、旧学校敷地跡地の有効利用について、昨年の 6 月定例市議会の一般質問に引き続き市の街づくりへの取組みを質しました。

**質問** 小中学校統廃合後の、旧学校施設、旧学校敷地の民間への売却、地域交流センターへの再利用などが進んでいますが、残る旧学校施設、旧学校敷地のうち、再利用方法が確定していないのは何校になりましたか。

**答弁** 旧潤野小学校、旧楽市小学校、旧鎮西中学校、旧飯塚第三中学校の 4 校となっている。

**質問** 残りの跡施設、跡地の再利用については、今後の取組みについてはどの様になっていますか。

**答弁** 「飯塚市公共施設等のあり方に関する第 3 次実施計画」に基づき民間事業者へ売却することとしている。

**質問** 「飯塚市公共施設等のあり方に関する第 3 次実施計画」では、平成 30 年から実施され、平成 33 年（令和 3 年）の中間点では計画の改定を行うとされていますが、改訂された計画はどうなっていますか。

**答弁** 施設の最適化な取組みを検討し、併せて、長寿命化の方針を策定している。

**質問** 建設から 80 年間使用する計画の「サン・アビリティーズいづか」の今後約 40 年間、維持管理する費用についてはどの様になっていますか。

**答弁** 改修工事費用の試算合計額は、約 9 億 4,300 万円となる。

**質問** 「飯塚市歴史資料館」の敷地 7,042 m<sup>2</sup>で、施設は建設後 40 年が経過しています。この施設についての今後の維持管理はどの様に考えていますか。

**答弁** 長寿命化を考えており、改修工事費用の試算合計額は、約 12 億 4,762 万円となる。

**質問** 「飯塚市立地適正化計画」（平成 29 年 1 月策定）では、生活利便性施設と徒歩圏人口カバー率の圏域（徒歩圏の範囲）の設定を 800m としています。

JR 鯉田駅から旧飯塚第三中学校の跡地までの距離が約 700m であることは、この計画の徒歩圏の範囲内であり、公共施設の再配置の場所であると考えますが如何ですか。

**答弁** JR 鯉田駅から半径 800m の範囲に旧飯塚第三中学校の敷地全体が含まれます。

**質問** 市が所有する施設敷地と飯塚市社会福祉協議会の施設敷地の総面積は幾らです。

**答弁** 総面積は1万5,934.79㎡となっている。

**質問** JR新飯塚駅東側の民間開発の、住居1戸当たりの建設面積から考えた場合、市の所有する敷地面積では、何戸程度の居住戸数が予測されますか。また、居住人口は何人程度増えると予想されますか。

**答弁** 国土交通省算出データの1住宅当たりの延べ床面積で計算すると、375戸の居住戸数が考えられる。居住人口については、国勢調査により1戸当たり2.15人として算出すると約806人の増加が見込まれる。

**質問** 人口が増えることにより、市の歳入はどれくらい確保できる可能性がありますか。

**答弁** 人口が806人増加する場合、国からの交付税を1人当たり9万円とし、375戸の家屋の固定資産税、1万5,934.79㎡の土地の固定資産税、375戸の納税義務者による市民税を見込んだ場合、1年間で約1億3,849万円の増加が考えられる。

**質問** 年間で約1億4千万円、今後40年間で考えると約56億円の歳入が確保できる可能性があるのであれば、旧飯塚第三中学校跡地への施設移転等を考えては如何ですか。

**答弁** 今後、当該地の利活用方法については、地元や関係団体と協議を行いながら検討していきたい。

**質問** 定住人口を増やすには、それなりの計画を持って取り組むことが必要と考えますが如何でしょうか。

**答弁** 質問議員が言われる様に、将来のビジョンを持って考えていく必要があると認識しているので、今後そのように取り組んでいきたい。

## 「中学校の運動部の部活動の在り方について」 一般質問を行いました。

ある民生委員の方から、中学校で教育上問題のある運動部の部活動が行われているとの指摘があり、飯塚市の中学校での運動部の部活動の実態について教育委員会に質しました。質問を通じて、教育委員会では各中学校の部活の外部指導者の実態把握がなされていないことが分かりました。中学校の部活動については、学校の教師の負担を軽減するため、2025年度から休日の地域移行が、スポーツ庁より示されていますので、今後の外部委託についての在り方を検討するためにも、改めて、現状の部活動の状況を把握することを要望致しました。

**質問** 市長へ匿名で民生委員の方から、中学校の運動部の部活動の在り方について問題が生じているので対応を要望する手紙が届いていますか。

答弁 令和4年4月19日に学校教育課に届いており、①部活動の顧問教師と外部指導者の言動が指導者に適さない。②学校内での部活動終了後、顧問教師、外部指導者が同席して学校外で練習を行っているが、義務教育の範囲で許容されるものなのか。③父母会が主催する形で顧問教師、外部指導者が同行し他県へ保護者に多額の費用負担も生じる宿泊を伴う練習試合に行くことが、学校長の許可なくして実施することが可能なのか。3点の内容の手紙が届いている。

質問 部活動の顧問教師や外部指導者に問題があるとの指摘ですが、中学校における運動部の部活動については、「福岡県運動部活動の在り方に関する指針」が平成30年12月に県教育委員会が出されていますが、ご存知ですか。

答弁 指針については承知している。内容についても各学校へすでに周知している。

質問 県の指針では、市町村教育委員会に対して「本指針を踏まえ、県と同様に取り組むよう働きかけるものとする。」と述べられていますが、飯塚市では、この指針に沿って中学校の運動部活動を行っているのですか。

答弁 令和4年3月に「飯塚市運動部活動の在り方に関する指針」を策定し、5月に各中学校へ周知した。

質問 市の指針が策定されるまでの4年間は、部活動はどのような考えのもとで行われましたか。

答弁 県の指針に沿って実施してきた。

質問 県の指針では、部活動の方針の策定に関して、各学校の方針と年間計画等を学校のHPへの掲載等により公表することになっているが、市内では何校公表していますか。

答弁 5月の周知後、10校中6校が公表している。

質問 民政委員の方の指摘を受けて教育委員会では、該当する中学校の運動部の活動のあり方について指導をされましたか。

答弁 当該学校長へ事実確認を依頼し、顧問教師、外部指導者への指導、保護者への説明会の開催など、必要な対応を行うよう指導した。

質問 指導された結果、その中学校の校長は、該当する運動部の保護者を集め5月下旬に運動部の今後について説明会を開催されていますが、その際の外部指導者の発言は、配慮に欠けた内容だったとのこと。教育委員会は把握していますか。

答弁 保護者が誤解するような発言が多少あったと聞いている。

質問 県の指針の中の、教育職員外指導者登録に際しての届出用紙では、登録される外部指導者の条件が示されていますが、条件に合っていると思いますか。

答弁 部活動の指導者は教育的見識を備え、生徒指導面への配慮が必要であると示されており、指導における生徒に対する暴言などはあってはならない。生徒及び保護者に活動方針や年間計画等を十分理解してもらい、県、本市の指針に沿った部活動指導を行うよう取り組んでいく考えです。



## 経済建設委員会報告

### 「飯塚市物産展」開催を要望致しました。

飯塚市では、令和4年5月17日(火)、18日(水)に九州市長会が開催され、この2日間に合わせ市役所1階で福岡県物産展が開催されました。

この物産展では、飯塚市のふるさと納税の返礼品のみで受け取れる「ハンバーグ」や「いづかブランド認定製品」などが販売されました。

「いづかブランド認定製品」とは、令和3年度から飯塚市が、市の知名度の向上と特産物の創出を推進し、地域経済の活性化を図るために取り組んでいる事業です。

(令和3年度では、「倉重酒店のあまざけブッセ・養生甘酒あまざけたろう」「蛭子屋合名会社のオーガニック味噌」「(株)ワイエスピーの無添加豆乳必ず訪れる幸せ・とろける大豆シリーズ(恵・美)」等、市内11社の17品目が認定されています。)

この物産展には、平日にも関わらず多くの市民の皆様が訪れ、次回の開催を要望する声を多く頂きましたので、6月22日開催の経済建設委員会で、「飯塚市物産展」として開催することを要望致しました。

### 旧地方卸売市場跡地の開発始まる

菰田・堀池地区の旧地方卸売市場跡地に、令和4年7月7日に令和5年夏の開業を目指した(株)イズミによる大型商業施設「(仮称)ゆめタウン飯塚」の起工式が行われました。

#### 商業施設の概要

敷地面積 5万5,200㎡

延床面積 8万8,500㎡

売場面積 3万0,500㎡

店舗数 100店舗

駐車場 2,200台

構造 鉄骨地上3階建て

複合映画館併設

雇用 約1,500人

今後、JR飯塚駅周辺の活性化が進み、定住人口の増加も期待されます。



2023年  
新春 どうそ 満  
議員活動報告



発行責任者 道祖 満  
飯塚市鯉田2525-44  
TEL 25-3280

つくります!  
newしいづがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

令和5年(2023年)

新春のお喜びを申し上げます。

令和5年(2023年)となりました。

皆様お元気で新しい年を、お迎えのことと思います。

わたしは、コロナウイルス感染症の予防接種を4回受けていましたが、昨年10月27日に発熱外来の病院で抗体検査を受けたところ感染していました。(周りの人たちは健康で、わたしだけが感染した状況で、感染経路はわかりません。)

医者より治療のため7日間自宅で待機する様に指示がありました。(幸いなことに、予防接種の効果なのか、高熱には至らず発熱は37度台が3日程度で平熱に戻りました。)

新年を迎えても、まだまだ、コロナウイルス感染症に対する予防には気を付けなくてはならない状況ではありますが、新年を迎えると、気分一新、今年も頑張るぞと、気持ちが一層にリフレッシュしたような感じになります。

今年の4月には、飯塚市議会議員選挙が施行されます。

皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、今回も飯塚市議会議員選挙に挑戦致します。変わらぬ温かいご支援をお願い致します。

飯塚市議会では、令和4年11月30日から12月16日まで、12月定例会市議会が開催されました。

12月定例会市議会では、「定住政策について」「総合評価落札方式について」「地域脱炭素ロードマップに関連して」市の取組み状況、考えを質しました。



今年も温かいご支援を宜しくお願い致します。

## 令和4年12月定例会市議会が開催されました。

令和4年12月定例会市議会が、令和4年11月30日から12月16日まで開催されました。

今回の定例会市議会に提案され審議された主な議案は次の通りです。

◎飯塚市個人情報保護条例の全部を改正する条例（個人情報の保護に関する法律が改正されたことから、必要な事項を定めるもの。令和5年4月1日から施行）

◎飯塚市議会議員及び飯塚市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例（公職選挙法施行令の改正に伴い関係規定を整備するもの。自動車借入れ1日16,100円、燃料の供給1日7,700円、ビラの作成1枚7円73銭、ポスターの印刷費1枚541円31銭、ポスターの企画費316,250円とするもの。）

◎飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例（公共施設跡地関係：公共施設跡地について審議及び審査をさせるための附属機関の名称を「飯塚市公共施設跡地売却に係る事業者選定委員会」とするもの。）

◎飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例（行政経営戦略関係：行財政改革大綱及び行財政改革実施計画の策定、進捗に関し調査審議をさせるため、飯塚市行政経営戦略推進審議会を設置するもの。）

◎飯塚市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例（定年年齢を60歳から65歳に引上、管理監督職勤務上限年齢制の導入、定年前再任用短時間勤務制の導入をするもの。令和5年4月1日から施行）

◎地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例（職員の定年延長に係る地方公務員法の改正に伴い、関係規定を整備するもの。令和5年4月1日から施行）

◎飯塚市公共施設等整備基金条例（飯塚市が所有する公共施設及び公共施設の建設費、改修費、除却費、設備の更新費等の整備費の財源確保を目的に基金を設置するもの。）

◎飯塚市立図書館条例の一部を改正する条例（飯塚市立図書館穂波館・颯田館の管理運営を、指定管理者に行わせるための関係規定を整備するもの。令和5年4月1日から施行）

◎飯塚市体育施設条例の一部を改正する条例（体育施設に穂波東グラウンドを加え、颯田グラウンドに照明設備を増設したため、関係規定を整備するもの。颯田グラウンド照明料金を専用利用時1,050円、1/2面利用時520円とする。令和5年4月1日から施行）

◎飯塚市健康の森公園市民プール条例の一部を改正する条例（プリペイドカードの発行を回数券に変更することに伴い、関係規定を整備するもの。令和5年4月1日から施行）

◎飯塚市都市公園体育施設条例の一部を改正する条例（市民公園のテニスコートの整備

したことに伴い、関係規定を整備するもの。1時間利用料金を、1コート一般 400 円、高校生以下 200 円、1時間照明料金 1コート 200 円、利用時間を午後 10 時まで延長。令和 5 年 4 月 1 日から施行)

◎指定管理者の指定「飯塚市市民公園体育施設」(市民公園の体育施設の管理運営の指定管理者を、令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日までの 5 年間、一般社団法人飯塚市スポーツ協会とするもの。)

◎指定管理者の指定「飯塚市立図書館」(飯塚市内の図書館 5 館の管理運営の指定管理者を、令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日までの 5 年間、(株)図書館流通センターとするもの。)

◎ふくおか県央環境広域施設組合理約の変更について(ふくおか県央環境広域施設組合が管理する可燃ごみ処理施設の再編等に伴い、総務に関する人件費を実情に合わせて変更するもの、ごみ処理施設の設置に関する経費を新設するもの。令和 5 年 4 月 1 日から施行)

◎令和 4 年度飯塚市一般会計補正予算(第 8 号)は、前期の実績に基づいた経費の見直しと今後見込まれる所要額 47 億 5,718 万円を増額補正し総額を 901 億 3,771 万円とするもので、歳出の主なもの、公共施設等整備基金管理費 10 億 484 万 3 千円・ふるさと応援基金管理費 20 億円・市内私立保育所施設型給付費(令和 4 年 10 月から保育士賃金を改正する処遇改善等による増額)1 億 272 万円・私立認定保育所施設型給付費 5,190 万円等の増額補正となっています。

尚、追加議案として、

◎飯塚市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例(令和 4 年人事院勧告に伴い国家公務員の給与の改定が行われたので、これを参考に職員給与を改定するもの。)

◎飯塚市教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例(福岡県公立学校職員の給与改定が行われることから、これを参考に市の教育職員の給与を改定するもの。)

◎令和 4 年度飯塚市一般会計補正予算(第 9 号)は、給与改定に伴い、4,867 万 5 千円を増額補正して総額を 901 億 8,639 万 8 千円とするものです。

## 「定住政策に関して」一般質問

令和 4 年 10 月 5 日の西日本新聞の報道で、「九州経済調査協会(福岡市)によると九州・沖縄・山口各県合わせた将来人口は、2050 年で 2020 年と比較して 24.7%減少する。」とありました。(飯塚市の 2020 年 12 万 6,364 人が、2050 年の将来人口では、9 万 6,103 人と予想。)

飯塚市では、「第 2 次飯塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、2015 年の飯塚市の人口から、5 年ごとの、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口、本市の直近の実績による推計人口、本市の独自の推計人口の将来展望が示されていますが、この

内容を比較しても厳しい将来人口の推計値が示されています。

現行の定住政策でも飯塚市の将来人口は減少していきませんが、厳しい将来人口の状況を見てみると、定住政策には今一つ工夫が必要であると考え、一層の取組を要望致しました。

	市独自推計	人口問題研究所の推計値	九州経済調査協会の推計値
2015年	12万9,146人	12万9,146人	
2020年	12万6,379人	12万5,894人	12万6,364人
2025年	12万3,148人	12万1,923人	12万2,211人
2030年	11万9,678人	11万7,570人	11万7,744人
2035年	11万6,241人	11万5,286人	11万2,566人
2040年	11万2,684人	11万0,798人	10万6,798人
2045年	10万9,324人	10万3,102人	10万1,230人
2050年	10万6,392人	09万8,655人	09万6,103人

**質問** 令和4年10月5日の西日本新聞の報道で、九州経済調査協会によると、飯塚市の将来人口は、次の様になると予測されている。更に、厳しい予想となっていますが、現状の取組みの飯塚市移住支援金の中で「筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度（基本額100万円・15歳未満の子供1人につき10万円を加算）」の様に対象外の地域を設定するのは何故ですか。対象外地域を設ける定住政策で、人口減少に歯止めは掛けられるのですか。

**答弁** 対象外の筑豊地区からの移住者は、現状転入超過が続いている。筑豊以外の地域からは、令和2年度から令和4年度11月末現在、この制度を活用して162所帯467名が飯塚市に移住してきているので一定の効果は出ている。現状を踏まえると、「第2次飯塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の対象期間である令和6年度まで継続して取組む考えである。

現状の制度では将来人口は減少していくので、少しでも人口を増やすことを考えて、令和6年度以降の計画を立案することを要望しました。

（令和4年12月13日開催の経済建設委員会の所管事務調査において、「飯塚駅周辺地区整備計画」の対象地域へ定住人口を増やす制度に取組むように要望致しました。

単純な考えですが、例えば、期間を令和7年度から5年間と限定して、福岡都市圏からの移住希望者には、現行の移住者住宅取得奨励金制度の100万円に100万円上乗せして200万円とし定住人口を1,000人増やすことを考えれば、期間限定の5年後から交付税・固定資産税等により市の税収は増えるのではないかと思います。）

## 「総合評価落札方式に関して」一般質問

令和4年9月定例市議会に、契約の締結「(仮称) 楽市・平恒統合保育所園舎建設工事」が提案され、飯塚市議会では、賛成多数でこの議案は可決されました。

この議案は、契約金額 5 億 650 万 6 千円で落札、総合評価落札方式で入札が行われました。

入札には 7 社が参加していますが、「飯塚市の公共工事発注における、総合評価落札方式による入札制度の廃止を求める。」請願の提出者も参加して入札が行われました。

飯塚市議会で、「飯塚市の公共工事発注における、総合評価落札方式による入札制度の廃止を求める。」請願が採択された以後も、国では「総合評価落札方式」による入札は行われています。

現状の国の総合評価落札方式に対する取組状況について確認を行いました。

**質問** 令和 3 年 12 月 17 日 各省各庁の長宛てに、財務大臣から「総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置について」が、出されています。この目的はどの様になっているのでしょうか。

**答弁** 令和 3 年 11 月 19 日閣議決定で、「政府調達の対象企業の賃上げを促進するため、賃上げを行う企業から優先的に調達を行う措置など政府調達の手法の見直しを検討する。」ことが位置付けられた。これを受けて、国土交通省では、総合評価落札方式の評価項目に賃上げに関する項目を設けることにより、賃上げ実施企業に対して評価点、又は技術点の加点を行うことになった。

**質問** 総合評価落札方式による入札の目的は、価格と品質の両方を評価することによって、総合的に優れた調達が可能になるとされています。働き方改革の視点からも、国は「総合評価落札方式」を進めていると思われませんが、市はどの様に考えていますか。

**答弁** 令和元年に「担い手 3 法」が改正された。喫緊の課題の一つとして、働き方改革の推進をいかに現在の入札・契約手続きに取入れられるか、この課題を解決するために、総合評価落札方式の透明性・公平性を確保しながら、評価の安定化及び評価の質の向上を求めることに加え、担い手の中長期的育成及び確保の促進と、将来の公共工事の品質確保の促進を図る入札契約の制度設計を立案していく必要があるとされているので、国の方針に従うとともに、先進地の事例を参考にしながら、入札制度の充実に取組んで行く。

## 「地域脱炭素ロードマップに関連して」一般質問

飯塚市は、「2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明しています。

第 3 次飯塚市環境基本計画（地球温暖化対策実行計画・区域施策編）が、2022 年令和 4 年 3 月に作成されています。この中では、「市では 2030 年度までに 2013 年度比で 46.0%、2050 年度に排出量実質ゼロの温室効果ガス削減の目標をたてています。」とされています。

また、この計画では、基本目標の中に、「循環型社会・脱炭素社会を実現する（地球温

暖化対策実行計画・区域施策編)」が示されています。

国の環境に対する動きでは、国・地方脱炭素実現会議が2021年令和3年6月9日、「地域脱炭素ロードマップ」（地方からはじまる、次の時代への移行戦略）を発表し、二酸化炭素の2030年度目標（2013年度比46%削減）、2050年カーボンニュートラルを目標に2025年度までに、100か所の「脱炭素先行地域づくり」に取り組むことが表明されました。

また、環境省では、令和4年6月に「脱炭素先行地域づくりガイドブック（第2版）」で、具体的な取組みについて示しています。

「脱炭素先行地域づくりは、地域の強みを生かし地方創生に寄与する様に進めることが重要で、地域における再生可能エネルギーの導入拡大が鍵となり、地域の企業や地方公共団体が中心となって、地域の雇用や資本を活用しつつ、地域資源である豊富な再生エネルギーポテンシャルを有効利用することは、地域の経済収支の改善につながることが期待できる。」とされています。

第3次飯塚市環境基本計画（地球温暖化対策実行計画・区域施策編）に示される内容の実現を進めることと、地域脱炭素ロードマップの脱炭素先行づくりに取り組むことは、目標は同じであり、考え方に相違が無いと考え、飯塚市として、環境省が進める「脱炭素先行地域づくり」に取り組むことを提案致しました。

**質問** 市は、環境省が進める「脱炭素先行地域づくり」に取り組む考えはありますか。

**答弁** 「地域脱炭素ロードマップ」では、再生可能エネルギーポテンシャルを最大限利用し、再生可能エネルギー発電設備を導入する。住宅・建築物の省エネルギー・再生可能エネルギー導入・蓄電池としても活用可能なEV等の活用。化石燃料に代替える燃料の利用。地域特性に応じた脱炭素化。地域住民の行動変容を促し資源循環を進める。二酸化炭素排出実質ゼロの電気・熱・燃料の融通。森林や里山都市公園、緑地等の自然資源を大切に管理・保全し、林業を活性化しつつ二酸化炭素吸収量を確保し木材資源を活用して炭素の長期保存を図る。となっており、地域課題を解決し、住民の暮らしの質の向上を実現しながら、脱炭素に向かう取組の方向性が示されている。

国においても、循環型社会形成に向けて取組が加速しており、市も、その目標の実現に向け、再生エネルギーの導入等の取組が必要と考えている。

こうしたことから、現在、再生可能エネルギーの活用等について研究している近畿大学産業理工学部と連携を図りながら、飯塚市における再生可能エネルギー導入等について探求している。

今後、「脱炭素先行地域づくり」の取組と、地域特性を生かした施策等について、鋭意検討を重ね、実施できるように努める。

## 経済建設委員会行政視察報告

経済建設委員会では、令和4年10月18日から20日まで、静岡県浜松市・愛知県安城市・愛知県豊川市へ行政視察を行いました。

◎浜松市では、「小型自動車競走場（オートレース場）のメインスタンド棟改築事業について」行政視察を行いました。

現在、飯塚市では、約34億9,000万円の費用で、令和3年8月から令和7年6月完成を目指してメインスタンドの建替え工事を、現行のスタンドを稼働しながら行っています。（オートレースのファンの皆様にはご迷惑をかけていますが、現在のメインスタンドは1967年に建設され55年が経過して老朽化が進んでいますので建替えとなりました。）

浜松市のオートレース場は、飯塚市に先立ち、約25億3,200万円の費用で、メインスタンドの改築に、平成30年から取組まれ令和4年5月16日に完成しています。

浜松市の新メインスタンドの概要を確認するため、現地視察を行いました。

◎安城市では、「都市計画マスタープランについて」行政視察を行いました。

安城市は、令和3年3月31日国土交通省の「新しいまちづくりのモデル都市」に選定されました。（街路空間の活用、公園緑地の活用等のオープンスペースの充実、空地・空き家等の遊休ストックの活用、テレワーク施設の整備、情報通信基盤整備の設置・データ活用・新技術を用いたサービス提供等に取組んでいる都市が選定されます。）

◎豊川市では、「インクルーシブなこども広場の開設について」行政視察を行いました。

市役所に隣接する豊川公園の野球場と陸上競技場の間に、こども広場を令和4年3月25日にオープンしましたが、障がいのある子もない子も、それぞれの個性に合わせて遊べる5つの遊具を新たに設置、地面に衝撃を和らげるゴムチップを導入、ベンチ隣に車いす・ベビーカー用スペースを設ける等の、あらゆる人に配慮した公園になっています。また、障がい者・妊婦などの優先駐車場も設置されていました。

## オートレース場行き無料バス路線延長を要望

令和4年12月13日開催の経済建設委員会で、現在、オートレース場への来場ファンサービスの一環として、西鉄飯塚バスターミナルからJR新飯塚駅を経由してオートレース場へ無料バスが運行されています。（日中開催時14便往復、ナイター開催時15便往復、本場開催と場外発売の同時開催時18便往復、単独での場外発売日については包括的民間委託の受託事業者と協議中）

平成29年3月13日の委員会で、「鯉田地区の方で公共のバスを利用してJR新飯塚駅まで行き、駅から無料のバスに乗り換えてオートレース場に行っているが、非常に不便なので、改善方法について検討を要望していました。」



新体育館の開設に合わせて、このバスを、新体育館を經由して、県営鯉田住宅近くの駐車場まで延長することを再度要望致しました。

この要望に対して、「オートレース場の地元の鯉田地区の方々が来場に不便であるのであれば、来年の新体育館のオープンを控え関係者と協議を行い、路線延長を実現したいと考えている。」と、答弁がありました。

## 飯塚市議会議員定数について考える

多様な意見を聞くということで、飯塚市議会では、一度、24人と決めた飯塚市議会議員の定数を、24人から現行の28人に戻し、今年4月に飯塚市議会議員選挙が行われますが、福岡県内の政令市を除く人口8万人以上の自治体の議員数と、議員一人当たりの人口の状況を改めて確認いたしました。

令和4年11月30日時点

	人口	議員定数 (女性議員数)		人口/議員定数
久留米市	302,523 人	36 人	6 人	8,403 人
春日市	112,858 人	20 人	5 人	5,642 人
大牟田市	108,581 人	24 人	6 人	4,524 人
筑紫野市	106,440 人	22 人	3 人	4,838 人
糸島市	103,663 人	20 人	3 人	5,183 人
大野城市	102,711 人	20 人	5 人	5,135 人
宗像市	097,312 人	20 人	3 人	4,865 人
飯塚市	125,808 人	28 人	1 人	4,493 人

議員一人当たりの人口を見てみると、飯塚市が一番少ないことが分かります。

2年後の2025年の飯塚市の将来人口は、市独自の推計では123,148人・九州経済調査協会の推計では122,211人と、減少することが予測されています。

現時点の人口で、議員定数を24人として、議員一人当たりの人口を計算してみると、5,242人となります。(2025年の市独自推計5,131人、九経調推計5,092人)

2025年の市独自推計人口では現行定数28人の議員一人当たりの人口は、4,398人

2025年の九経調推計人口では現行定数28人の議員一人当たりの人口は、4,364人となり、一段と少なくなります。

議員一人当たりの人口が多い自治体では、多様な意見を市議会議員は聞いていないのでしょうか。

尚、議員一人当たりの年間経費は、約974万円です。議員定数を28人から24人にすることで、1年間で約3,890万円、4年間では約1億5,560万円の削減効果が期待できます。(この削減された経費については、市民の皆様の有効的な利用が考えられます。)

今年度の市議会議員選挙で、議員に選出された暁には、議員定数の議論を行う決意です。